

特集 安倍政権とその継承菅政治



【乱れ打ちかわら版】あらため／季刊（創刊2001年）

2020年冬・63号

信条・世に媚びず・粋にとらわれず
・言いたいことはハッキリ言おう

発行／吉田 進

携帯 090-3168-1063

FAX 072-863-0605

〒110-0015

東京都台東区東上野 3-26-10 FC204号

URL: <http://www.kawaraban.ne.jp/>

E-mail: info@kawaraban.ne.jp



蒜山から大山に向かう途中、雪に埋もれた茅葺きの民家が。誰かが住んでるのか？ 一家で暖を取って楽しく団らんしているのか？ 想像してたらこちらも暖かくなった。前方に見えるのは烏か山（1448m）

CONTENTS

世の中・社会・文明・歴史・家族・自分のことを書いています。

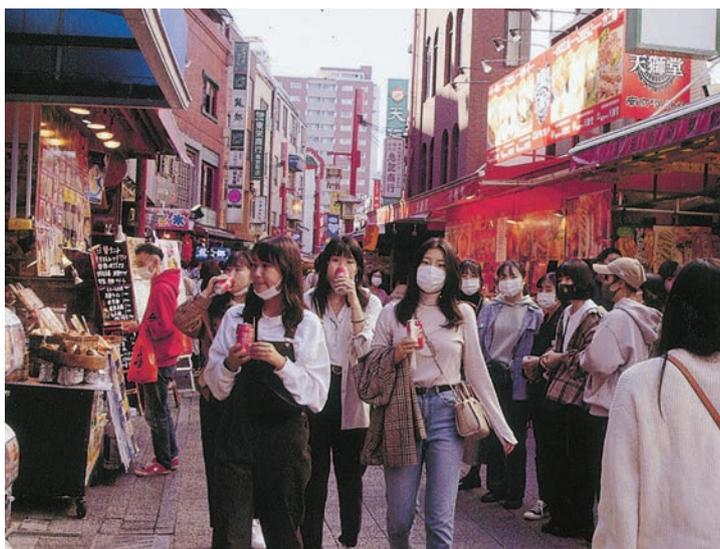
世界の遺産を食い荒す怪物トランプ遂に落城 吉田 進… 2	岩名雅記氏の日記① 闘病記 …… 8・9
多津衛民芸館 信州のロザリアン… 3	アメリカがくしゃみをすれば 杉井ひとし…10
「服従と付度」強権化する菅新内閣 今だけ、金だけ、自分だけ、の一部の人々の ためではなく、今度は「国民のためにはたらく」？ 参議院議員 森 ゆうこ… 4	名画座、万歳！「ギンレイホール」 酔 祥…11
あぁトランプ、米国民の良識破れたり 人類の民主主義への道遠し 三田 栄考… 5	明智光秀の決断 阿部 敏夫…12
「過ぎたことは過ぎてしまう」 －責任追及に弱い私たち日本人－ 高梨 晃嘉… 6	司馬遼太郎(中)－対話を大切に続けた思索家－ 市川 隼…13
アベノミクス以後「新自由主義から 社会的連帯経済へ」 中瀬 勝義… 7	「サポートユニオンwith you」の活動(その2) 深化し拡大する地域のかかわり 島野 正通…14
	押しつけ笑いの無能な芸能人ども 原野 通有…15
	LIFE CROSSING余録 ……15
	編集後記 ……15
	映画監督にして画家 増山麗奈の駆け巡り！ 第15話 日露合作映画「歳三の刀」と夢を実現しよう！ 増山 麗奈…16

世界の遺産を食い荒す怪物 遂に落城！

創業100年の「つばりや」が、「コロナ被害で閉店する」という。筆者も昔、悶々とした失業時代に元気をもらった。ふくの看板がなくなり、寂しく、悲しくなった



神戸のビル街で昼弁当を売る車屋台。パーキングメーターのスペースだから、駐車違反ではない



神戸の中華街は人だかり。人々の足が元に戻ったようだ

暴動、略奪に備え、物々しい態勢で開票した米大統領選でトランプが負け、バイデンが勝った。世界に笑顔が戻ったようだが、それが経済大国アメリカの実態である。

負けたトランプがいう「アメリカファースト」とは、つまり「命よりカネが大事」のポピュリズムに他ならない。いま自国は、コロナ感染者が世界一の880万人というのに。

一方、大阪で行われた2回目の「都構想」賛否の投票では、NOが多数となり、「維新」に黄ランプが出た。だが、問題は第1回目は反対だった公明党が、2回目は賛成に回ったことで、公明支持層からも「選挙のために信念を曲げるのか」の声が上がったことである。全く、角界の翔猿の健闘は面白いが、当選するために強い党から党へ移る「飛びザル」は、おもしろくなく、情けない限りだ。

戦後、「自民党なんて、八岐大蛇だ」と公言していた国会議員がいた。菅首相は、その大蛇の大獲得レースに乗って生まれたわけ。彼は、「安倍政治を継承する」と言うが、彼こそ安倍前首相と二人三脚で強権政治を行ってきた張本人。

「森友・加計」「桜を見る会」。公文書の改ざんから、日本学術会議の新会員候補6人を任命しなかった等々を真面目に答えてもらいたい。また、負の借金1100兆円をどうするのか等々にも。

一方、コロナ下で中小企業の倒産、労働者の賃下げ、首切り、国民の自殺者が増えている。この待ったなしの土俵で、ぜひ「翔猿」の取組みを見せてもらいたい。

(文責・吉田進)

多津衛民芸館

信州のロザリアン

『手が語る、多津衛民芸館』とは…

東京から信州の浅間山の麓に居を構えて3年、四季の移ろう中で土に接する生活をしていると、命の母体である地球の包容力の大きさに感謝の日々です。その地球は今、自然環境の破壊が進み、温暖化により大型台風の被害など警告を発しています。その一つが世界的なパンデミックのコロナ禍です。連日のコロナ報道で家にこもる生活を感じた事は、これからの社会を維持するにはどうすれば良いのか、転換期の課題を与えられたと思えました。

佐久市の望月にある多津衛民芸館で吉川徹館長の『民芸とは何か、小林多津衛と多津衛民芸館の願い』と題した講演会がありました。機械化された大量生産品よりも、職人さんや作家さんの手仕事の作品が好きなので、この民芸館

に収蔵され展示される器や染色作品、版画などの展示や、近隣の作家さんたちの生活必需品の展示即売会など、地域との繋がりを大切にしているので、居心地の良い好きな場所です。

ここには、小林多津衛さんが蒐集なさった民芸品が中心に展示されており、暮らしの中から社会を見つめるという理念のもと、衣食住の美しい物をたくさん見て、日常で使い、自分でも作ってみる事を提唱なさり、展示室、喫茶室、作業室というスペースでの活動の場になっています。

今回も講演会の休憩タイムに、ここの収集品の用と美を兼ね備えた江戸時代の蕎麦猪口でお茶をいただき、使う事により、器のぬくもりが手に伝わる喜びを味わい、大切に使用しつつ、欠けても金継ぎで美の追加をする日本人の「もったいない精神」の素晴らしさと、用と美の体験がで

きました。

使い捨てで経済をまわす大量生産と大量消費でのゴミ問題、マイクロプラスチックの海洋汚染、除草剤と農薬の食料汚染や、肉の消費によるアマゾンの森林の放牧地化、化石燃料でのCO₂問題…欲望に満ちた新自由主義の破綻



吉川徹館長

は、私たちの生きる生存権すら格差社会が拡大し、貧困層はこの世界の片隅に追いやりられて、ますます棄民化されています。

『平和を維持するには…』

世界で平和憲法を持つ国は日本とコスタリカの2国だけです。コスタリカは自国が平和であるためには、周辺諸



多津衛民芸館の勉強会

国も平和でなくてはと、紛争解決に乗り出して、平和を輸出することを理念としました。憲法で軍隊をなくし、軍事費を教育費に回して、民主主義とは誰もが教育を受けられ、安定した生活ができ、人権が保障され、弱者を支える社会保障が整備される事であると、小学校から選挙の大切さも含めて教育しているそうです。

日本では、多津衛先生が1970年に提唱された『赤十字国家』論があり、憲法9条の戦争放棄の理念を、国際社会に貢献する方法として、軍事費を削って医療の乏しい地域で病気に苦しむ民衆や、自然災害や紛争地で被災した民衆に、医療従事者や医薬品で派遣援助をする社会貢献を続

ければ、戦争の火種が降り注ぎそうな危険な状況に日本が巻き込まれそうになった時に、貢献した国々からの友情で戦争回避の可能性が出てくるという、理念だそうです。

平和だからこそ、労働の喜びと、ささやかな生活を彩る、使う喜びを感じる衣服や器や木工品、絵画や音楽という心身の栄養素が幸福を充実させるのです。

それには、食の基盤である農村の充実が大切ですし、生活に必要な手の仕事である物作りの職人さんたちの作品への支援の充実も見直されるべきです。手を使ってモノを作れるのは人間の特権であり、幸せの原点で、多津衛民芸館は支え合う共存の拠点としての活動を、吉川館長さんとスタッフの皆さん、作家さん、来訪者の皆さんと共に、ゆつたりと営まれており、今年で25年目を迎えました。

大都會の一極集中から地方分散への移行は必須で、自然を忘れた社会は孤独になりつつあり、世代を超えたコミュニケーションの輪の中で、互いに助け合いたいと切に感じたい日でした。

「服従と忖度」

強権化する菅新内閣

「今だけ、金だけ、自分だけの一部の人のためではなく、今度は『国民のためにはたらく』？」

立憲民主党副代表 森 ゆうこ

(参議院予算委員会筆頭理事)



森ゆうこ氏

「この質問は、菅官房長官ではなく、安倍総理にしてください！」「この質問も安倍総理でいいですね」「とにかく官房長官には質問しないでください！」

今年の通常国会、私が参議院予算委員会で質問する際、質問取りに来た内閣総務官室の職員達は、菅内閣官房長官(当時)の国会答弁を回避しようとして必死だった。その姿は滑稽にすら見えるほどであった。こんなことは16年間の議員生活で経験したことがない。「どれだけ菅さんは官僚に恐れられているんだ……」

と本当に驚くと共に、官邸がリスと呼ばれている警察官僚(主に公安)出身の杉田内閣官房副長官に指示して「内閣人事局」を最大限に活用し、従わない者は問答無用で排除していく恐怖政治が行われ、「服従と忖度」が霞ヶ関に蔓延しているという情報の信憑性が私の中で高まった瞬間だった。

現在大きな問題となっている「日本学術会議任命拒否問題」を甘く見てはいけない。菅総理も安倍前総理と同様に、あるいはそれ以上に、「権力は抑制的に行使するべき」であるとしてきた自由民主党歴代総理の「権力の作法」を躊躇なくかなぐり捨てた、あるいは全くそのような意識さえないように見える。「知識をひけらかし優雅な生

活をしている学者達がやられていい気味だ」とたか括っている。権力は市井の人々の自由にも手を伸ばして来ているのは、過去の歴史が証明しているのではないだろうか。

アベノミクスは失敗だった。異次元の金融緩和で「温室」を作り、その「温室」の中で新しい産業を育み、時代に合わなくなった企業は体質を改善したり退出したりしやすくなるはずだったが、7年経ってもデフレ脱却はできず、滴り落ちて来るはずの恩恵は、地域や庶民にとうとう辿り着かなかつた。今や国内株式市場の最大の株主は公的機関である日本銀行とGPIF(年金資金を運用する機関)である。実態経済を反映していない日経平均株価は、官製相場場で、つまり国民の税金を使って、お金持ちをよりお金持ちにしただけだった。

確実に格差は拡大した。昨年、非正規労働者は前の年より45万人増えて2165万人で、働く人の38・3%。3人に1人が非正規労働者となり、コロナ不況で真つ先に影響を受けた。昨年の消費税増税によって、特に地域経済は

打撃を受けたところに新型コロナウイルス感染症が発生した。多くの人々が命と暮らしの不安を抱え、企業は苦境に追い込まれている。このままでは年が越せるのか、夏に続いて冬のボーナスが出なければ住宅ローン返済に行き詰まる、学費納付や奨学金返済が出来ない等、切実な声が増しに多くなっている。

政治は生活である。新しい総理大臣が真つ先に着手する政策は、国民の皆さんの命と暮らし、地域経済を守るための具体策だと思っていた。デジタル庁やハンコ廃止を全否定しているわけではないのだが。

菅新政権が誕生してから40日。明日から漸く臨時国会が開会される。新しい総理が誕生したにも関わらず、国会で所信表明をせず、質疑も行わず、新内閣の外交方針の一端を私たちが知ったのは、菅総理が初外遊に出かけた際の内閣記者会見であった。安倍総理7年8ヶ月の長期政権において繰り返された虚偽答弁、公文書の隠ぺいと改ざん、廃棄によって、国民の代表が行政を厳しくチェックするとい

う国会の行政監視機能は、無力化されてきた。以前はすぐに行政文書や正確な情報に霞ヶ関からもたらされたものだ。私たちの調査活動は法律に基づく国政調査権発動の元になるものだから当たり前のことだった。今は、当然提出すべき行政文書をピンポイントで要求しても出し渋る。そもそも提出された文書が改ざんされていない「真性」なものであるかどうかを確認するために時間と労力と神経をすり減らす、という異常な事態を今度こそ打開しなければならぬ。

自民党に代わりうる、政権を担いうる、新しい立憲民主党が誕生した。過去の苦い経験が教訓にして、今度こそ期待に応えたいと決意を新たにしている。

(11月25日臨時国会前夜記)

森ゆうこ議員の名前を知ったのはその鋭い質問が印象に残ったからで、爾来、彼女が質問に立つと委員会室はシーンと緊張の波が漂うのを感じる。野党でありながらお伺いを立てるような、まるで、政権に主張の場を与えるように質問する議員もいるが、森ゆうこ氏は政府の無茶や横暴に毅然とした言葉を放つ。立憲民主党副党首としての今後の活躍を期待します。

(編集部)

ああトランプ、

米国民の良識破れたり 人類の民主主義への道遠し

東京 三田 栄考

米国大統領選挙は、実質的にはトランプが継続するか否かの選挙であった。混乱してもバイデンが就任式に臨めば民主主義が勝利するとして顔に話す識者が多いが、私はそうは思わない。「史上最悪でアメリカの恥」とはバイデンの言だが悪しき人物をUSAの半数近くの人が投票したのは消すことのできない事実だ。世界のひんしゆくを買う政治を4年間やってきた。トランプはUSAの恥だから候補者から引きずり降ろしてこそ米国良識の勝利だ。それどころか47%の人がトランプに投票した。コロナ禍がなければ負けていただろう。これでは民主主義は敗れたと言うべきである。世界の人々はこの事実を直視しなければいけない。私はトランプの全てを

否定するわけではない。コアの支持者が狂気乱舞するのから分らないことはない。4年前に比べて経済生活が良くなったと答える米国人が6割



トランプの等身大像と熱狂的なその支持者（ニューヨークにて）

前後、これは21世紀では最高率だ。米朝首脳会談も歓迎だ。中国への強い姿勢も評価できるが、日本人の中にそれ

故にトランプの勝利を期待する人がいるがそれは大まちがいだ。彼の政策は全て米国や自分のためではない。世界や平和の為ではない。確かにトランプは大した男だ。大統領まで上り詰めるだけのことにはある。迫力・熱意には敬服する。しかし、平和と軍事問題・世界秩序の破壊・コロナ対応・環境・差別・人格・フェイク発言・納税回避・相候補への常軌を逸した罵倒・選挙結果に対する姿勢・側近の離反・人格等々々。こんな男が世界最大、最強の国アメリカ大統領で4年間のわがままを悪政を繰り返してきた。それを是とする700万人のトランプ票が増えたのは先進国アメリカですら良識常識は根付いていなかった証明だ。大衆は扇動されたら熱量で動かされる、洗脳されるのはヒトラーや日本の軍部と同じである。半数弱の支持には寒気すら覚える。彼は人間の悪しき欠点を集積した男だ。いや誰も欠点はあるが、指導者としてこれほど露骨にエゴを現わし続けている人物はいなかった。

世界は後退・退歩している、良識が負けている

世界に独裁を続けるトップのなんと多いことか。それに関心のない、気づかない、真剣に考えない庶民のいかに多いことか。こんな近代社会において王政でもないのに金正恩の北朝鮮は3代親子で権力を握り近親者達を簡単に暗殺し恐怖政治を続けている王朝だ。これだけの圧政に抗議する声すら聞こえないほど庶民は勇気も正義も持ち合わせていない。ロシアのプーチン大統領、この人も好き勝手をやっている。大統領の任期の制限を憲法で受けると首相に転じ、身代わりのメドベージェフを大統領に据え、自分は首相になる。その任期が終われば再び大統領になる——憲法に違反していないと開き直る。憲法は一人の人物に長年の権力を持たせない趣旨なのにそれを凌駕してしまった。現在4期目で2024年に憲法上任期が終わるが、またまた憲法改悪を下院で承認させて再出馬できるようにした。権力になびく国民、議員が権力者にも良心も売ってしまう。ナポレオンは憲法を変えて

自分が終身皇帝に成れるようにした。日本の戦前の政治体制がそうだった。いや、現在日本の政権党自民党も同じだ。自分らで総裁の任期は2期までと決めておきながら安倍一強となると党則を変えて3期まで可能にした。更に4期までの再改定のうわさが絶えなかった。日本の右傾化が続くのを止めなければいけない。世界の良識派の代表たるメルケル独首相も再出馬を断念すると宣言せざるを得ないように追い込まれた。他方、英国では欧州融合の象徴のECから脱退するジョンソン首相が登場した。そして世界最大の人口の中国も同じ、いや最悪だ。国家主席は2期10年と定着していたはずが、習近平氏はその任期制限を憲法から削除させてしまった。現在のところ独裁圧政が強化され香港の民主派も弾圧された。外国人も反中国の活動をしていて中国に入学すると逮捕の危険もあるから、台湾での反中国活動も覆面で顔を隠していた。習近平氏を外国人まで脅迫する21世紀最悪の反民主主義者と断じたい。

（11月8日朝記）



商店街の横断幕

「過ぎたことは過ぎてしまう」

—責任追及に弱い私たち日本人—

共同行動のためのかながわアクション代表世話人 高梨 晃嘉

不正・疑惑には
誰もフタを
してはならない
安倍首相の辞
任会見後や総裁
選前後の世論調
査結果の報道は、
内閣支持率の急

菅政権が発足した翌日(9月17日)、私の地元(9月17日)の地方紙、数日後配布されたミニコミ紙、いずれの紙面も「菅義偉首相 ご就任おめでとうございませう」の地元企業の広告であふれた。ミニコミ紙には連合町内会や商店街の名前もあった。名を連ねることで、新首相の「ご威光」にあやかりたいとの心情が見て取れる。こうした心情は「今だけ、金だけ、自分だけ」の姿勢の現われでもある。一連の広告に私は強い違和感を覚えたのだが、「過去」も「先」も問うことがない、この姿勢は、すでに広く国民の多くに浸透しているとも言われている。私たち日本人は、この先も、こうした姿勢で生きていくのか。菅政権発足を機に、私はこうした姿勢を今後どう克服していくかを自分に問

い続けて行く。
不正・疑惑には
誰もフタを
してはならない
安倍首相の辞
任会見後や総裁
選前後の世論調
査結果の報道は、
内閣支持率の急

上昇や安倍政治を「評価する 71%」など世論の「豹変」を伝えていた。こうした風潮に前川喜平氏は、東京新聞のコラムで「日本国民は蒙昧の民か」と書いた。菅氏は総裁選討論会で「負の遺産」解決済み」と主張した。「負の遺産」とは、
「国政の私物化」という、先の総理・総裁の疑惑のことだ。疑惑解明を求める主権者の声には「嘘とゴマカシ」で応え、出された刑事告発は棄却させ、だから「解決済み」と菅氏は言い繕う。この発言の裏に、日本人は過ぎたことは忘れる、過ぎたことは過ぎたことと高を括った傲慢な姿勢を見て取れはしないか。しかも疑惑が出される度に、全く問題はない」と木で鼻をくくった態度で疑惑を否定し「安倍政治」を二人三脚でつくってきたのが菅氏自身だったことを私は断じて忘れないし、疑惑に蓋などさせるとは、と決意も新たにしている。

憲法政治
「安倍政治」には別の「負」
問題もある。憲法改正へ異常

な執着、外交や安全保障、アベノミクス、ジェンダーや雇用、社会保障などの分野で強引に押し付けた政策は、排外主義と対米従属を深め、軍事費の増大、立憲主義や民主主義の否定、三権分立の破壊、雇用の破壊と教育への介入、社会保障費の大幅な削減など。内実は大企業と資産家を優遇し、国民・庶民には、格差拡大と貧困、差別と排除の押しつけであった。菅政権が掲げる「安倍路線の継承」とはこうした事態の継続宣言にほかならない。
だが、国民の多くは現在、安倍政治は「過ぎたこと」扱い、菅氏が「安倍路線の継承」を掲げていることさえ意に介せず、「今が大事」とばかり、菅政治へ期待を膨らませている。安倍政治がこの国の政治を歪め、国民の生活を蔑ろにし続けてきた結果としていまがあるのにいまの事



商店街の売り出しチラシにも

態をそのままにして期待など
どうして生まれるのか、私には理解できない。過去と切り離された期待は「根拠なき幻想」だ。だからこそ、安倍政治を検証し、安倍政治が作りだした事態をどうしていくのかに向き合い、日本国憲法理念の具体化へと政治の舵を切り替えさせなくてはならないのだ。「安倍路線の継承」を掲げる菅政治もまたこの点でも厳しく問われなくてはならない。

私の処方箋
この稿の冒頭で私は「今だけ、金だけ、自分だけ」を取り上げたので、まだ検討中ながら私自らの処方箋を綴り、この稿を終わりとす。
「今だけ」でなく「過去」も振り返り「先」のことも併せてしっかり考える、「金だけ」という自分の利益だけを考えるのではなく、社会全体の利益もしっかり考える、「自分だけ」でなく自分以外の他人のこともしっかり考える。そのように考え深めていくことで、主権者が政治の主人公として関わる政治とそのためのあるべき姿が見えてはこないか。

アベノミクス以後

「新自由主義から

社会的連帯経済へ」

海洋観光研究所 中瀬 勝義



韓国

100万人デモによる

韓国市民平和革命

3年前、韓国は寒い時期、毎週土曜日に100万人デモを4カ月間継続し、一人の死者も出さずに、朴大統領の腐敗を正し、共に民主党の文大



2017年ソウル百万人デモ

統領を当選させた。その後、南北首脳・米朝首脳会談を展開し、今回のコロナ禍を上手く対応し、総選挙が行われ、共に民主党が圧勝した。それは、参与連帯などの市民活動・組合活動・協同組合運動等々の厳しい活動の歴史から創り上げた市民平和革命と評価されている。

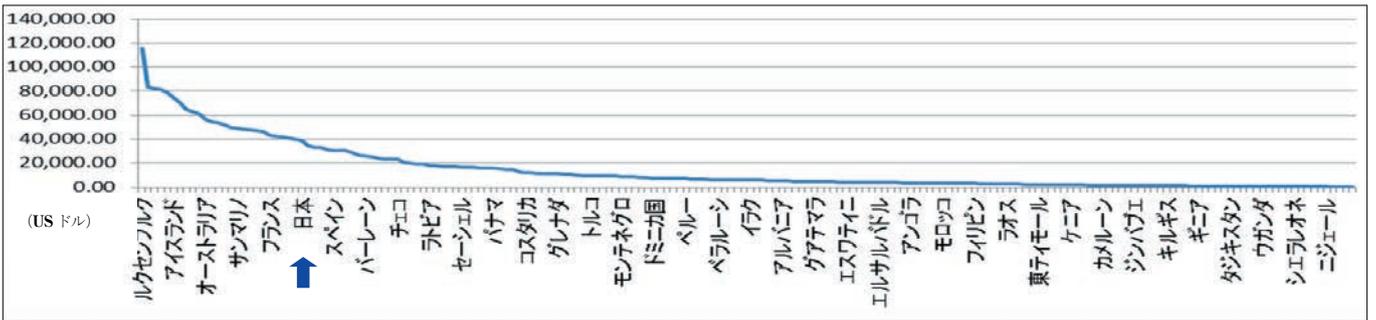
フランス地方選挙で 緑の党の4市長当選と

ミニシバリズム

6月18日のフランス地方選挙で、緑の党が4市長を制覇するとともに女性市長が5都市で誕生する大変革が起こった。フランスは「グリーン」の前に「黄色いベスト運動」による「新自由主義と格差反対運動」を展開し、ヨーロッパでは、バルセロナ、ナポリ等の革新的な勢力が市政に着く自治体が「ミニシバリズム（地域主義）」という言葉をも掲げてつながりを強めている。

新自由主義による貧困と 格差の拡大

新自由主義が進展し、福祉や公共サービスを縮小し、貧困や格差が拡大した。世界の国別一人当たりの名目GDPランキング（下図）は、日本は26位で、世界190カ国平均に対し10倍も高い。世界の皆が米国の生活様式になるためには資源制約と環境制約から地球は5個必要で、日本の生活様式でも3個必要と推算されている。世界の平和的平等のためには日本は、GDPの1/10の削減が必要で、成長経済からの脱皮が必要だ。



国別一人当たりの名目GDPランキング（単位：USドル）

社会的連帯経済と今後の日本

人々や企業等の社会的連帯が今ほど必要な時はない。地域に根付いた協同組合やNPO等によって農林水産業を育て、格差社会を是正していく。市民が全員何らかの形で多種多様な協同組合員として、協同組合やコミュニティ・ビジネスを自分達で作り責任を負う。新自由主義から社会的連帯経済への転換だ。これらを奨励する仕組みをつくる社会に変える必要がある。地域の水資源、森林資源、海洋資源等を大事に活用し、エネルギーまで作り出す地産地消のシステムを創り上げることが大切だ。

最近の日本は、地震、台風、水害、風害、火災など大災害国になっている。幸い、日本は温暖な気候、緑が多く、水に恵まれ、周囲を平和な海に囲まれた、世界一自然豊かな国だ。今後は、ヨーロッパのような長期バカンス制度をつくり、家族農林水産業・製造業・地元土建業をベースに、他国の資源に依存しない「衣食住自給率100%」の生物多様性・循環型社会をつくることが望まれる。

当誌の執筆者のひとり、在仏30年の舞踏家であり映画監督である岩名雅記氏がこの夏、肺の難病に罹患しました（癌の一種）。5作目の映画「ニオンのオルゴール」を日仏で撮影中に病魔に冒されたのです。突然のことですが、表現者である同氏の了解を得て、発症の段階から残された日々を闘病記として書かれたものを当誌にも掲載してもらうことにしました。ノルマンディの自宅で病と闘う氏の心情をお汲み取り下さい（編集部）。

岩名雅記氏の日記①

闘病記

8月14日 人生初の入院

昨日のCTスキャンの診断結果により、急遽ル・マン市の総合病院に入院することにになりました。左肺のみ不全。自分には記憶がないが、アスベスト禍が疑われている。人生初の入院。

8月21日

原因不明の不審な液体

入院が突然だったので自分でも事態を踏まえられず慌てました。肺臓とそれを覆っている胸膜の間に不審な液体がたまり、それが左肺の肺胞の動きを制約しているようです。肺そのものには異常がないようですがこの液体の除去と侵入の源を探知しなければなりません。この1週間は

ファイバースコープによる気管支からの肺の内視、分析用の不審液体の採取（2分の1リットル）などがあり、来週から治療が始まります。原因がつかめていないので樂觀はできませんが現在までのところは個室でのんびりと人生の休暇を楽しんでいます。

8月30日

左胸膜から液体抽出

病院に特別なネット設備がなく、週一回連れ合いの友人がスマホでネット供給をしてくれるだけなのでお礼の返事遅れました。病の方は8月25日に左肺を包んでいる胸膜（2層）の間にパイプを入れて3日かかって1200mg（1リットル強）の液体を抽出し

ました。問題はこの液体が何者であり、再度侵入してくるかどうかが不明なのです。来週冒頭に検査結果がでて異常がなければ退院となります。まあ生活もこれまでと同じようにというわけにはいかないでしょうが。またアスベスト云々はスキャンを実施した研究員がその可能性を述べただけで関係はなさそうです。



2018年東京新宿酒場エスバにて

9月3日 胸膜の悪性腫瘍だった

昨日9月2日に3週間ぶりに家へ戻りました。診断の結果ですが、（半分は予感していました）最悪です。メゾトリウム、日本語では悪性中皮腫と呼ばれる胸膜の悪性腫瘍でした。昨日は退院前、胸郭の専門医から詳細を聞き

ました。最終のレントゲン写真では右肺は綺麗に肺胞が写っているのに左肺はあたかもワクワクと湧き上がる夏雲のように異常な胸膜に覆われていました。何でもこの病は奇病難病の一つで完治はないそうです。人にもよりますが余命が数えられるほどだそうです。今が人生の仕切り直しです。

最初に妻と子供に申し訳ないと思いました。次に手がけている仕事（映画作品のヨーロッパ撮影部分）をどうするかということ。連れ合いに「あなたは余生を草むしりして過ごすようなタマではないんだからしっかりしなきゃ」とハッパをかけられました。嬉しくて涙が出ました。今後は限られた命に向かって1日1日を生きていきます。

皆さまからのたくさんの方の励ましの言葉に大感謝です。これだけで俺は恵まれているなあと思ひとおです。ありがとうございます。最後まで生き続けます。（なお、お一人お一人にメッセージでお答えできないことがあります。あらかじめお詫びします）

9月5日 ケトン食事療法 アスベストなど

FB友人のKさんのアドバイスで早速ケトン食事療法を始めた。悪性腫瘍を「栄養する」糖質を徹底して排除する食事療法。コメ、パン、牛乳、果実などを一切採らない。糖質だけを受け入れる腫瘍にいつさい栄養を与えずいわば兵糧攻めにする戦略。これに類似しているのが獣生肉と魚、獣肉油と魚油を主食にしているイヌイットの食事だという。まず4日続けると肝臓の機能が転換してくるらしい。ところでこの中皮腫の原因だが、今でもにわかには信じられないのだが30〜40年前のアスベスト塵の吸入だという。自分ではまったく身に覚えはないのだが、思い起こせば確かに1975年前後の演劇修行時代の数年間、新築ビルの下貼り天井張りをしてきたことがある。扱っていたのは畳大の石膏ボードだったが今だにアスベスト公害の原因が定かではないのだから疑うに十分だろう。

とすれば今でもお付き合いしている演劇時代の諸先



杉井ひとし氏

アメリカがくしゃみをすれば

新潟県議会議員

杉井 ひとし (三条市)

戦後、「アメリカがくしゃみをすれば、日本が風邪を引く」と言われてきた。最近では「中国がくしゃみをすれば、日本がマスクをつける」と言われることもある。いずれにしろ日本は大国の影響を受けやすい。
トランプ大統領のアメリカでは「反知性主義」が大手を

振ってきた。地球温暖化に対する科学者たちの警告を無視して石油・石炭業界の利益を優先、パリ協定から離脱して「どうだ、世界一偉い俺を止められるものなら止めてみる！」と言わんばかりにふんぞり返っている人物が大統領なのだから、国内に反知性主義がはびこるのも無理はない。そういう大統領のときに新型コロナウイルス感染症が流行した。トランプ大統領は「マスクなどいらぬ」「治療には抗マリア薬が有効だ」「消毒剤を注射したらどうか」といった非科学的な発言を連発した。結果的に米国内では750万人が感染し、21万人が死亡した。

雑誌『サイエンティフィック・アメリカン』も「トランプ大統領の反科学的な姿勢をこれ以上、無視できない」とし、バイデン候補支持を明確にした。同誌も創刊以来、175年間にわたって不偏不党を守ってきたが、今回初めて「トランプではダメ」という姿勢を打ち出した。

でも思ったのだろうか。トランプ大統領は選挙目前に連邦最高裁の判事に保守派の女性を指名した。9人の判事のうち保守派が6人を占めれば、人工妊娠中絶や銃規制など世論を二分する問題をめぐり、最高裁の判断が右傾化するためだ。自身の選挙結果を裁判で争う事態になったときに有利な判断が下されるようにするための布石でもあった。



大阪医科薬科大学のアルバイト職員の待遇格差是正を求めた訴訟の上告審判決後、最高裁前で「不当判決」の紙を掲げる原告弁護団ら (吉田航太氏撮影) =毎日新聞より

5月には医学誌『ランセツト』がトランプ政権の感染防止策を厳しく批判、「米国民は大衆の健康に理解のある人物をホワイトハウスに送り込むべきだ」と主張した。同誌は江戸時代の文政6年(1823年)創刊で、世界五大医学雑誌のひとつ。選挙で特定候補を支持するのは2000年近い歴史で初めてだ。

10月には医学界でもっとも古く、もっとも権威のある医学誌『ニューイングランド・ジャーナル・オブ・メディシン』までが「いまの政治指導者は危険なほど無能」とトランプ政権を厳しく批判。大統領選でトランプ氏に投票しないよう呼び掛けた。これほど学会からダメ出しされた大統領も珍しい。

同じ時期に日本では、菅義偉首相が日本学術会議の推薦した会員候補六人の任命を、理由も示さず拒否した。安保関連法や特定秘密保護法などで政府方針に異を唱えてきた大学教授たちだ。知的権威に懐疑的で、ときに反発するのが反知性主義。米国内での反知性主義の広がりを目の当たりにした菅首相は「波に乗り遅れてはならない」と

た「同一労働同一賃金」はスローガンでしかなかった。どこまでが合理的でどこから不合理な格差なのかは裁判所の判断次第なのだから、経営側は痛くもかゆくもない。
労働者派遣法などで非正規雇用を増やす一方、雇用側が困るような司法判断を下さないよう最高裁の保守化も進めてきた自民党政権。富裕層が支持するのは当然としても、差別的扱いを受けている非正規労働の若者までがそうした政権を支持している。アメリカのくしゃみで飛沫感染し、高熱にうなされてはいるのだとしたら早く完治してほしいと思う。

名画座、万歳！ 「ギンレイホール」

東京 酔祥

学生時代は新宿の日活名画座や池袋の文芸座によく通ったけれど、サラリーマンになると、もっぱら酒場通いで、映画鑑賞から遠ざかってしまった。

リタイアしてから、始めたテニスも不整脈で倒れたのでできなくなってしまったのでテレビ、ラジオ、読書以外に昼間やることがなくなってしまう。

僕の好きな作家の一人である原田マハが書いた『キネマの神様』に登場する名画座は神楽坂にあるギンレイホール（1974年開業）がモデルだ。欧州駐在が長かった僕は、『キネマの神様』を読むまで、この映画館を

知らなかった。

2本立てでシニアは1000円である。見たい映画がなかった時、たまに出かけていたけれど、自由時間が増えた今、思い切って、ギンレイシネマクラブの会員になった。年会費1万1000円（税込）。2週間ごとにプログラ



神楽坂名画座「ギンレイホール」

ムが変わるから、1本あたり200円ちょっとは割安である。概ね納得がいく作品が多い。たとえ、商業的にはヒットしなかったものでも、優れた問題作を上映しているところは、神保町の岩波ホール（ここはシニア料金1本で1500円と高い）と同じく、良心的な姿勢で評価できる。

先日、見てきたのは、『長いお別れ』（中野量太監督、認知症になった元中学校長の家族の話。山崎努と蒼井優が好演。以前、封切りで見たので今回は2度目。やっぱり原作本の方が中身は濃い）と『洗骨』（ゴリこと照屋年之監督、4年前に他界した妻の骨を洗う沖繩・粟国島の風習を描いた家族ドラマ。奥田瑛二、筒井道隆、大島蓉子がうまい）。2本とも、笑わせ泣かせ、家族の絆、生きていることの素晴らしさを教えてくれるいい映画だった。田園調布から出てきたのだろうか、隣席の品のいい婦人が、僕と同じようにクスクス笑ったり、ハンカチで涙を拭いているのが伝わってくる。家でDVDを見る時と違い（カミさ

んはたいがい途中から白川夜船だが）、見知らぬ人たちと感激を共にできる映画館での鑑賞はやっぱいいものである。

ギンレイには、平日の朝一で出かけることにしている。週末は朝から、平日でも午後には長い行列ができてしまいい、好きな席に座れないからだ。スクリーンの左側、前から3番目（僕は眼鏡をかけてもかなりのド近眼）の2人席の通路側が僕の定番である。この席を確保するには朝9時半に到着しなければならぬ。休憩時間はわずか15分。この間に、トイレを済ませ、おにぎりをお茶で流し込む。

待ち時間の楽しみは、BGMである。スピーカーが高品質で、音響効果がなかなか素晴らしい。オールデイズがほとんどであるが、今回は、聞きなれないヴォーカルだった。『Moonlight Serenade』が耳に心地よく響いてくる。気だるいスモーキー・ヴォイスに堪らなく痺れた。

続いて、『Fly me to the moon』が聞こえてきた。これもなかなかのもの。休憩時間に、受付に飛んで行って、

モギリ嬢に訊いてみた。さすが、サービスの良いギンレイだ。即座に「エミ・マイヤーのCDアルバム『モノクローム』です」と親切に教えてくれた。

家に帰って、早速、ネットで調べた。1987年京都生れの32歳。アメリカ人の父と日本人の母を持つハーフ。ニューヨークの音大を出、主に、ロスで活動しているようだ。エミを知ったのは今日の大きな収穫だった。

ギンレイは収容人員206人の小さな映画館だけれど、僕にとっては、とても居心地の良い場所だ。椅子良し。臭い無し。僕の嫌いなポップコーンも売っていないだけでも表彰ものである。来月は、『Cold War』（2018年ポーランド映画）と『ワイルドライフ』（2018年アメリカ映画）を見に行く。どちらも人間愛の物語だ。

読書と同じように、映画から、自分が経験できなかった未知の世界や、人生について色々学べるのは大きな喜びだ。ボケない限り、僕のギンレイ詣は続くことだろう。



滋賀県大津市琵琶湖畔坂本城址に立つ明智光秀の石像

明智光秀の決断

東京 阿部 敏夫



NHK大河ドラマ「麒麟がくる」

夏は今朝島がくれ
行くなのみ哉

いずれも光秀の知性教養を示すものとして表現されるが、信長、秀吉には、この水準の資料がない。優秀な戦国武将であり政治家であり知識人でもある光秀になかったものは、貪欲なまでの政権奪取に対する策略である。秀吉や家康にはそれがあつた。知性は、いつの時代でも政権の邪魔をする。信長が考えていた後継者は光秀とする見解が多い。それは光秀には、それが解らなかつたのであろうか。あの営業上手の秀吉が抜擢されると焦つたのだろうか。多分、革新的ではあるが日本古来の文化に冷淡な信長、野心旺盛な秀吉。いずれも光秀の理想像とは遠かつたのである。現代では、かつて自民党の幹事長だつた加藤紘一がそれに近

い。まさに加藤の乱と本能寺の変は近似する。
本件は秀吉謀略説、京都朝廷の陰謀説、堺商人の権益維持説をはじめ七つの原因があるとされる。私は光秀自身の歴史観だと思う。古来の日本文化を熟知するだけに信長の残酷さは許せなかつたのだ。そのため後世の史家は結果だけで評価し政治家や教育者はそれを利用する。明治維新の成果を存続させたい人達にとつて忠誠心こそ大事だったのである。

小説家は歴史を動かすことも出来る。東北の雄、伊達仙台藩の「伊達騒動」が起きたのは三代目藩主、綱宗のときだ。国家老原田甲斐の逆上抜刀事件は以後、甲斐を極悪人としてあつかつてきたが、小説家山本周五郎は「樅の木は残つた」で仙台藩を救つた偉人として描き、今では評価が逆転して名家老として定着しつつある。資料だけで評価する歴史学会と文学者の感性が視点を逆転させた一例。

明智光秀の知性教養がせまつた決断を誰かが評価すべきである。

秀に迫つたと言える。

職場を成功させれば指示した上司より実行した自分に能力があつたとみるのは、いつの時代でも同じだ。とりわけ足利義昭。弱体化し名前ばかりの將軍義昭を織田信長に紹介することによって信長家臣になつた光秀は途中入社組の幹部である。それにしても明智光秀自筆遺言状（鎌倉高德院蔵）。明智光秀自筆覚書（細川護立氏蔵）は共に達筆である。

誰もが触れる京都愛宕神社で詠んだ「ときはいま 天が下しる 五月かな」これは後世色々な解釈を生んだ。決起の決意表明との理解もあるが自ら危険をおかして事前に言うかとの考えもある。私は後者を採る。光秀の発句には

ほととぎす
いくたびもりの木間哉

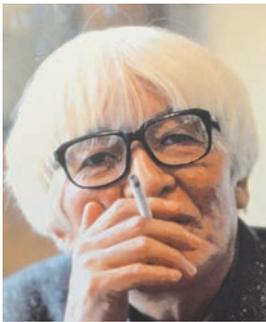
だけ軽く済まそうと配慮した節がみえる。多分、女子供も許さなかつた信長の性格に異質のものを感じたのだろうか。信長の異質は妹婿の浅井長政を討ち、その曝れ頭に装飾をほどこし手許に置いていたなど枚挙にいとまがない。

現代の会社経営に例をとつてみれば理解できる。最初は優秀で魅力的な社長と思つて部下はよく働く。社長の指示通り成果をあげ、工場を営営し、地方支店を成功させる。経営幹部は競つて業績の評価と報酬の多寡を気にする。明智光秀と羽柴（豊臣）秀吉の二人の家臣は常務取締役級の役職を得る。

NHKの大河ドラマ「麒麟がくる」は光秀の仕事ぶりを、よく表現して長谷川博己の演技と男前にファンが多い。はじめて正面から人間光

秀を語ることは織田信長を理解することでもある。天下布武を唱えて国を統一しようとした信長を天才呼ばわりする識者は多い。例えば司馬遼太郎や池宮彰一郎は信長を評価し藤沢周平は嫌つていた。それは視点の違いからくる。

藤沢周平が嫌つたのは信長の残酷さ。比叡山の堂塔伽藍を丸焼きにし僧俗三千の老若男女を斬殺する。この時、光秀も参画するのだが、出来る



司馬遼太郎 (週刊朝日MOOK)

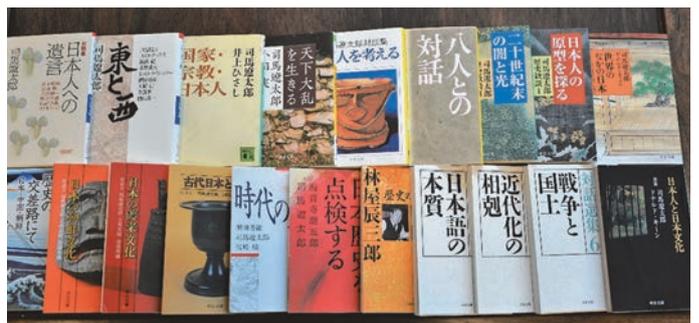
「文春文庫」編集部が、『司馬遼太郎の全作品を要領よく纏めているが、ジャンルを大きく分けると、「小説」、「随筆・評論」、「紀行」、「講演」、「対談・座談」の分野に分けられる。40年の作家生活の中で、131作の膨大な量の作品が残されているが、『街道をゆく』は43巻に上つ

司馬遼太郎 (中)

—対話を大切にし 続けた思索家—

鎌倉市 市川 隼

ているので、『街道をゆく』を43作品のように計算をすれば、更に作品数は増加する。販売された本の数となれば膨大で、司馬の作品の中の販売数が20番目にランクされる『最後の将軍』ですら220万部を超え、1位の『竜馬がゆく』から20番目の作品までの総数が約1億2千万部に達し、日本の人口と匹敵し、司馬が、如何に多くの読者に支持され読まれている作家であつたかを示している様だ。司馬は、対談の名手と云われ、110名相当の専門家との対談や座談が、40冊近い本に纏められているが、三島由紀夫、大江健三郎の作家達から、湯川秀樹、西沢潤一、山村雄一の科学者、更には、経済人松下幸之助まで多岐に亘り、その道の専門家と語り合う司馬の視線が、鋭く、そして、時には優しく光る。友人だつた鄭(チョン)貴文・詔文兄弟が創刊した『日本の朝鮮文化』の誌上で多くの専門家と共に語り合った「日本と朝鮮の文化」については、4冊の文庫版となつて出版され、貴重な文献ともなつている。



対談集

司馬がドナルド・キーンと対談したのは72年で、『日本人と日本文化』として出版されているが、平城京、銀閣寺、適塾で対談が続けられた。碩学同志、互いに遠慮があり、対談が敬遠されたようだが、相互の作品について触れないことを条件に実現された。息の合った二人は親密になり、その後、89年・90年の対談が、『世界のなかの日本』として出版されている。話題は文化論一般の多岐に亘り、キーンは司馬の博識に惚れ、司馬は、キーンの文化に

対する理解力と日本語力に驚嘆した。キーンのような素晴らしい学者の「身分保証の場所」を日本に作って置くべきだと感じた司馬は、82年の7月の朝日新聞の幹部との宴会の席で、「明治時代の朝日が、夏目漱石を雇う事によって良い新聞になったように、ドナルド・キーンを雇わなければ良い新聞になりません」とキーンの入社を迫り、その影響もあつたのか、92年までの10年間、キーンが朝日新聞に在籍し、優れた文章を寄稿し続けた。

人と会うことを好まなかつた井筒俊彦との対談が実現したのが92年12月であり、『20世紀末の闇と光』として纏められた。翌月の1月、司馬は陳舜臣と共に台湾に赴き、高雄のホテルに中央公論の山形真功が立っているのに驚き、井筒の急逝を知る。井筒への誄詞(るいし)として纏められたのが、『アラベスクー井筒俊彦氏を悼む』であつた。司馬の『空海の風景』や『韃靼疾風録』の読者でもあり、『二十人の天才らが一人になつた』と敬意を表した知の巨人井筒と、韃靼やアッラー

と真如について語り合った対談を思い出しながら、「虚空に戻つた巨大な通人類人のことを、茫々と思つた」と、高雄のホテルで記した。

大阪出身同志の司馬と小田実が対談したのが75・76年であつたが、「国家」、「天皇制」、「日本人」について、戦中派の司馬と昭和ヒトケタ世代の小田が、夫々の戦争体験や戦後体験を軸に語り合い、評論家松本和夫によれば、両者はペンで戦う人文士Vであり、己をよく知る者とのみ「志」を交わす「志士」であると評しているが、小田が司馬との距離を何時頃から感じるようになったのか、その後を書いた『30年後の「あと書き」』では、会談した頃が二人が一番近接していたと記し、「文士から国士に移行して行つた事は、頂いた著作によって読み取れた。…私にとって、やはり、司馬氏は、この対談の中でのように文士司馬氏であつて欲しかった」と結んでいるが、64歳の時の『韃靼疾風録』を最後の小説とした小説家司馬への、小田の哀惜の気持ちの現れであつたのかも知れない。

深化し拡大する地域のかかわり

「サポートユニオン
withYOU」

事務局長

島野

正通

大阪北摂（島本、高槻、茨木、摂津、吹田）をカバーする地域労働組合「サポートユニオンwithYOU」は、今年9月に第10回定期大会を開催。企業内組合や産別組合でない個別労働紛争を解決する労働組合で、さらにコミュニティユニオンとして地域の運動にも積極的にかかわっています。

労働相談 障がい者雇用にとりくむ

吹田市が、「障がい者任用」のテストケースとして知的障がい者を臨時任用したにも関わらず、合理的配慮をせず、成年後見人制度欠格条項で雇い止めを行いました。私たちは裁判で問題点を明らかにし、控訴審で和解。当事者と市長が和解面談を行い、障がい者雇用を一層推進することを約束しました。



崎井一三代表（19年定期大会より）

また団体交渉を行っている電気精密機械メーカーの事業もADHDの傾向にある障がい者雇用の問題です。障がい者枠で採用しながら、過重な業務を押し付け、怒鳴り散らすなど精神的に追い詰められた組合員を病気休職させながら、傷病手当を遅延させていました。

個別労働紛争防止へ種をまく

長時間過重労働は脳疾患・

心臓疾患や過労死につながり、職場のハラスメントは精神疾患や過労自死を招きます。過労死防止法で啓発教育の必要性が指摘され、喫緊の課題となっています。ユニオンは府立高校で「過労死防止・ワークルール」の出前授業を行っています。労働と人権サポートセンターとともにこれを定時制高校に広げます。労働者の権利教育をすすめることもユニオンの大きな課題の一つだと考えています。

ひとり親家庭の学習サポート

ひとり親家庭の小学生、中学生に対して学習サポートをしています。学習塾の月謝は驚くほどの高額で、家庭の経済的な格差が学力に反映されることは明らかです。ユニオン設立のころ、相談に来られたひとり親家庭のお母さんから、仕事の話とともに子育ての悩みも聴きました。「スーパリーの仕事で、いつ辞めさせられるか心配。朝6時からお昼の12時頃まで働いているが、時給900円で週に2万円少し。1コマ8000円の学習塾に子どもを通わずには無理がある」と。

ユニオンスタッフや組合員



お別れ会

に元教員がいたこともあり「学習サポート」をスタートさせ学生サポーターも参加。今年、コロナ禍での茨木市の補助金を活用し、授業料をさらに低額化する予定です。

「居場所」から「制度要求」へ

ユニオンは個別労働紛争を解決するために、相談者（組合員）に寄り添い団体交渉で要求を実現させてきました。さらに公契約条例、障がい者配慮条例など自治体条例制定要求の闘いにつなげることが大きな課題です。全国一律最低賃金実現には国会議員への要求と連携が欠かせません。また関西生コン・連帯ユニオンへの常軌を逸した大弾圧に対し、闘う労働戦線を拡大し国会を巻き込んだ政治闘争へ

も昇華しなければなりません。北摂地域のコミュニティセンターとして

誠実にかかわります

日本の労働人口が激減していく中において多文化共生は避けて通れません。外国人労働者、移住者などニューカマーの人々、障がいのある人たち、そして、LGBTの人たちとの共生は不可欠です。閉鎖的な地域社会でなく伝統的な行事にまで積極的にかかわりを持つ意識革命が必要です。

ユニオンの市民活動、社会運動へのかかわりは深化化してきています。ユニオン主催の「土曜シアター」で社会問題をあつかった映画を上映し、「共生ジャーナル」で人権、福祉、教育、労働問題にもとりくんできました。「教科書問題を考える北摂市民ネット」「子どもたちと（世代をこえて）考える『戦争と平和』実行委員会」「戦争あかん・9条壊すな19総がかり行動」「野党共闘をめざす市民連合」に事務局として関わり、今日的な問題を市民とともに考えてきました。今後、地域運動の要として運動をすすめていきます。

押しつけ笑いの無能な芸能人ども

大阪市 原野 通有

笑い聞いて、すぐにテレビのお笑い芸能人のわざとらしい押しつけ笑いを思い出した。

まさに商業主義のもうけ主義による視聴率稼ぎのための笑いが番組と日本の文化の退廃を招いている。いや、これはホントに深刻ですぞ。

G Tの番組表は安易なお笑いのオンパレードだ。大して面白くもないことでも仕事からむりやり笑いにもつていく(笑わせなければ失格退場だ)。面白くなくても取り繕って笑う。あのさんま君にいたっては自分の顔を棒でたたいてサア笑えとわめく。笑うために集められた連中はゲラゲラ笑う。

誤解なきように、私は笑いを全否定するものではない。島田紳助やタモリの如く、やさしや桂枝雀の笑いの話術には敬服する。能のない奴はむりやり芸以外で笑いを取ろうとし仲間や観客に応援を強要

する。あるいは衣服や髪型や装飾品で奇異な姿態ついには裸体をさらして奇をてらつて笑いやネタを取ろうとする。ますます意味もない。下品な脳を軽くする笑いに走る。これでは頭が空っぽになる。



お笑い芸人は政治・社会問題にしたり顔で参加するな。

文学もニュースもドキュメント arīも映画も健全な娯楽番組は端に、またBSに追いやられ遂にはネット番組にまで押し込まれてしまう。考えない空っぽの国民を操るのは権力者には簡単なことだろう。国民は互いに自戒することだ。

余録

62号の感想です。台湾発「新型コロナウイルス対策に成功した」……世界各国の新型コロナウイルスの感染者だが、台湾の感染者の少なさが目立つ。台湾発の記事がこの疑問を解いてくれた気がする。日本は対策が甘く遅かった。3月、WHOの「パンデミック宣言」時に何らかの規制をし、新型コロナウイルス

編集後記

うれしい悲鳴をあげるほどたくさんの方の寄稿がありました。次号回しに同意して下さった方にはお詫びいたします。▼袖触れ合うも他生の縁といいますが、生きていく上で出会う人の数はたかが知れており、考え方も行動もちがって当たり前。当誌をそうした人生の交差点として何かを感じていただければと思っ

ています。▼常軌を逸するトランプの驚愕的行動、バイデン大統領発足は道のり未だ険し。またポスト安倍の菅政権の動きに日本もどこへと危惧

を押しさえる方策を徹底してほしかった。新型コロナを抑え込むことで、経済は今ほど打撃を受けなかっただろう。クルーズ船で感染が認められなくても公共交通機関で帰宅させたのは「おかしいんじゃないか」と仲間内で話したこともあった。また「人類の皆さんこんにちは」では主人公、新型コロナウイルスが自分を解説してくれて面白く読ませていただいた。思いがけ

しません。菅総理誕生時、マスコミは一齐に「パンケキ大好きの新総理」と好物を紹介。凋落する内閣支持率が大幅アップし、アイドルじゃあるまいし、国民はそこまで物事が分からなくなっているのでしょうか。「パンケキおじさん」の仮面の下にあったのは、アベを上回る空疎で強引な手法。日本学術会議問題からも「推して知るべし」ですね。マスコミにも世間にも「お子さま文化」がそこま

で蔓延している。空恐ろしいことです。▼今号は立憲民主党の森ゆうこ副代表をはじめ、高梨さん、中瀬さん、杉井さんという新たな書き手が

ない視点からの記事で大変よかったです。また「だから中国人は嫌われる」。青島に行った時も運転マナーの悪さに違和感を覚えたことも。そんな中国人の気質の理由を教えてください。参考にはなったが、中国人が日本に来たら日本人の気質を理解し、悪感情を抱かせないような配慮はしてほしいと思う。「郷に入つては郷に従う」ではないだろうか。(千葉の読者)

登場。それぞれの筆者が熱意をもってコトを語り、いまという時代の側面に迫っています。▼年頭から発生した新型コロナウイルスも冬を目前に、変異を遂げてより強力になっているとか。ヨーロッパで再びロックダウンが始まっています。日本はといえば一部の国境を緩和し、GO TOKYOキャンペーンのさらなる継続が図られて、経済の浮揚をめざしているとか。どんな影響が表れるのか気がかりです。

▼苦しい病の床から書いてくださった岩名さん、彼岸へ旅立たれたことを知りまして。安らかに眠り下さい。

映画監督にして画家
増山麗奈の駆け巡り!

第15話
**日露合作映画「歳三の刀」と
 夢を実現しよう!**



NIPPONを世界に伝える
 着物と日本刀が世界で注目されています。イギリスの大英博物館では着物展が長蛇の列。ご存じ鬼滅の刃は快進撃。そんな中サムライ映画「日露合同映画『歳三の刀』」を製作準備しています。この映画は函館の戊辰戦争の後、土方歳三がロシアに渡ったという歴史ファンタジーストーリーで幕末と現在、日本とロシアが交差する物語です。先日ヒロインや土方歳三や近藤勇の

少年時代、剣の達人、周助役など追加キャストのオーディションを開催したところ600人もの応募がありました。歌舞伎60年の市川家橋(17代目)さんや天然理心流試衛館主の高島天真さんの出演が決まりました。すでに加藤登紀子さん、辰巳琢郎さんの他、今年の東京国際映画祭で6つのプレミア招待作品のメインキャストとして出演しているJUN AMANTOさん、この秋ロサンジェルス映画祭で助演女優賞を受賞された大島葉子さんの出演が決定。日露双方のキャストが所作や演技の稽古を始めています。ロシアで最優秀ドラマに選ばれた「スパイゾルゲ」日本人キャスト主演の山本修夢さん演じる歳三が、ロシア宮殿でアレクサンドル二世に謁見し、宇宙の隕石でできた刀を手合わせするシーンもあるんですよ！ワクワク。

なんでロシア?

「どうしてロシアと合同合作なの?」とよく聞かれます。もともとは3年前からロシア映画in東京の企画に携わり、2年前から日本の映画

をロシアの5大映画祭に紹介していることに起因します。2020年はサンドイッチマン富澤たけし監督作品を含む7作品をロシアで紹介し、一社ユーラシア代表の私がロシア政府より日露の文化交流賞を授与いたしました。大陸に渡った侍という、皆さんは「義経伝説」を思い



監督にして画家の増山麗奈が描いた映画のヒロイン近藤智子の絵です。近藤勇の子孫という設定で、義を追求する胆力のあるヒロインを探しています

た。「映画「歳三の刀」は義経伝説に似ていますね。当館には土方と函館戊辰戦争を共に戦った幕臣大島圭介の明治になって詠った掛け軸が所蔵されているのですが、その中に「義経伝説」にまつわるものもある」(土方歳三浪漫館館長)というのです。新選組の一人として活躍した原田

つくかもしれない。源氏の戦いに敗れた源義経が大陸に渡ったという伝説です。中国からトルコまで大陸を制したチンギスハンのモデルが源義経との説もありますね。先日、土方が最期の地といわれる函館にある、土方歳三浪漫館の館長さんから義経伝説と戊辰戦争の縁をお聞きしまし

左之助が、大陸で馬賊となつたという事例が明治時代の新聞で紹介されていますし、北へ北へと追われ続けた幕府側の幕臣が、大陸を渡って活躍してほしいというような思いは当時からあったのか。函館で土方の遺体は見つかったおらず、土方の支援者だった函館の豪商佐野専左衛

製作費はどうするの

2021年4月、春桜の時期にロシアの俳優や監督を呼んで日本で撮影をスタートし、2021年9月にロシアでの撮影を行い、一年かけて制作予定ですが、製作費2億円が目額のうち、まだまだ予算が十分ではありません。50万円以上の出資者には、映画上映後に配当金が還元されるという形での協賛金を集めています。

50万円の御出資なら、経費の200分の1。利益が出たらその200分の1が配当金として支払われるという仕組みです。不安定な時代、銀行よりワクワクして安全かもしれません。一緒に「歳三の刀」で夢を見て、世界に進出してくれる企業様出資者様を絶賛募集中!桜の時期に、一緒に映画をスタートしましょう!

